

平成15年9月29日

各位

会社名 株式会社グローバルス
代表者名 代表取締役社長 久永 真一
コード 3528 東証2部
問合せ先 取締役総務部長 田中利久雄
電話番号 03-3470-8411

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成15年5月23日の決算発表時に公表した平成16年3月期の中間期及び通期の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成16年3月期 中間業績予想数値の修正 (平成15年4月1日～平成15年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成15年5月23日)	7,500	180	170
今回修正予想(B)	9,500	450	440
増減額(B)-(A)	2,000	270	270
増減率(%)	+26.7%	+150.0%	+158.8%
(ご参考) 前中間期実績(平成14年9月中間期)	7,288	213	186

(2) 平成16年3月期 通期業績予想数値の修正 (平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成15年5月23日)	15,000	350	330
今回修正予想(B)	15,000	540	500
増減額(B)-(A)	0	190	170
増減率(%)	0.0%	+54.3%	+51.5%
(ご参考) 前通期実績(平成15年3月期)	14,694	336	306

* 1株当たり予想当期純利益(通期) 8円52銭

2. 修正の理由

当中間期は、「ライオンズグローベル」シリーズ マンション4棟など 計7棟が新たに竣工しましたが、それらマンションの新規販売契約並びにお客さまへのお引渡が順調に推移し 売上高が270戸、9,500百万円と、当初計画に比べ45戸、2,000百万円を上回る見込みとなりました。一方、経費面でも広告宣伝費が販売好調により当初計画に比べ大幅に減少し、また借入金も減少して金融費用が減少するなど、売上高の増大効果と相まって 経常利益及び中間純利益の大幅な増加に寄与いたしました。

通期の業績につきましても、中間期の修正に伴う下期の売上高及び経費等に変動が見込まれますので、前回発表した予想数値を修正いたしました。なお、下期におきましては、シリーズ マンション3棟の新たな竣工を予定しておりますが、積極的な営業活動推進の結果、販売契約実績は現在堅調な推移を示しております。引続き全社一丸となり更なる拡販活動に努める所存であります。

(注)

上記の予想等は、現時点における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値と異なる場合があります。

以上